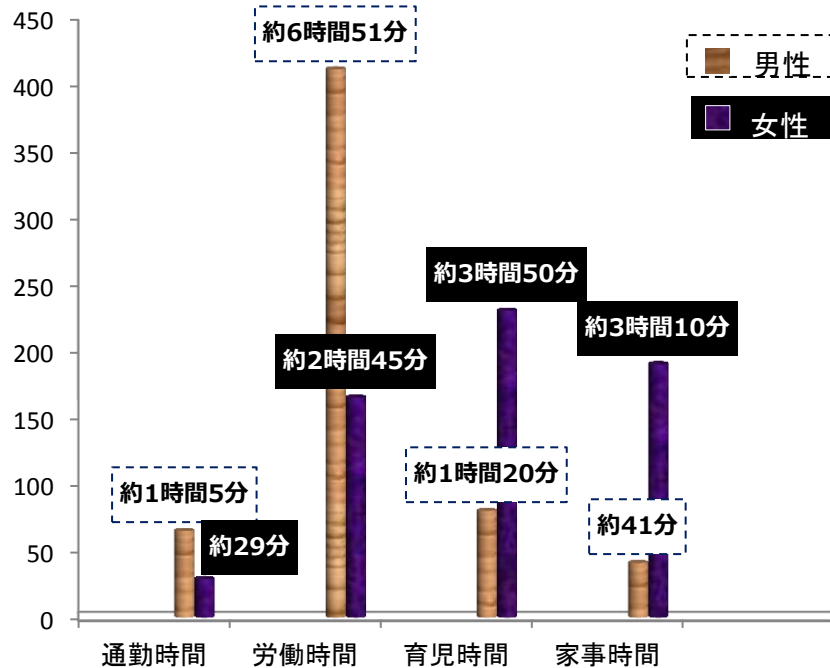


ライフ・ワーク・バランスの推進～男性の家事・育児への参画～

資料12-2

現状

6歳未満の子をもつ男性と女性の 平均生活時間【東京都】



資料：総務省「社会生活基本調査」（平成28年）

- 女性に比べて男性が通勤や労働に時間を費やす一方、女性は育児や家事に多大な時間を費やしており、家事・育児に係る負担は女性に大きく偏っている。
- 女性も男性も輝く社会を実現するためには、男女が協力して家事、育児を担う必要がある。

都の政策目標（2020年に向けた実行プラン）

- 就学前の児童を持つ父親の家事・育児時間
2016年度 121分/日 → 2024年度 3時間/日
- 「男性も家事・育児を行うことは当然である」というイメージを持つ都民の割合
2015年度 50.9% → 2020年度 70%

取組

- Webサイト「パパズ・スタイル」の運営
男性が家事・育児参画に役立つ記事や動画、子育て漫画を掲載し、男性やそのパートナー、親や上司の世代等社会全体に対し意識啓発を実施



パパズ・スタイルは
男性の家事・育児参画を応援します！

- パパママサミット
父親と母親が共に参加できるシンポジウムを開催し、男性が主体的に育児・家事に関わり夫婦が協力体制を図っていくことを目的に実施
- みらい手帳
子供が生まれる前から、働き方を夫婦ともに考えるための啓発冊子を作成し、母子健康手帳と併せて配布
- パートナーシップセミナー
夫婦のパートナーシップが良好になるためのセミナーやワークショップを開催